

講義名	企業文化論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	瀨本 隆弘		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	32092

主題と概要

企業文化とは、企業のメンバーによって信じこまれた価値観、考え方、行動パターンの総体である。講義では、この文化という組織におけるソフトの側面を学ぶ。文化は、形の無い、曖昧な存在である。しかし、企業が環境の変化の中で生き残るために、自らを変革し、環境に適応できる存在となるうえで不可欠のものである。つまり経営戦略策定の重要な要素である。

従ってここでは、企業文化がいかに創造され、いかに浸透し、いかに変化していくのか、あるいはいかなる文化が企業には存在し、われわれはいかにその文化を管理し、さらには戦略にまで高めていくのかを考察する。

到達目標

企業文化とは「社員が共通に持っている理念や価値観で、社員の行動を方向づけるもの」であり、新しい時代の企業がめざす望ましい観念・制度・活動の体系の構築、特に良い企業（エクセレントカンパニー）のあり方について学ぶ。

我々や社会にとって、良い企業とはいかなる企業かを考え、良い企業の企業文化を知り、消費者として、企業人として、また生活者として、企業といかに関わっていくかを探してみたい。この講義を通じて将来さまざまな立場で企業とどのように付き合っていくかを自ら考えられるようになってほしい。

さらに講義では、経営戦略としての企業文化の在り方について考えてみたい。企業が実体の無い文化をいかに利用し、企業競争における勝利を目指しているかを考えたい。

提出課題

1. 講義の中頃に、小レポートの提出を求める可能性がある。ただし、課題提出の回数が増えた場合は、実施しない。
2. 簡単な課題の提出を求める。(数回・不定期)
講義内容に沿ったテーマで、講義の復習となるようなテーマが選択される。
200から300字でまとめるの簡単なものである。

評価の基準

定期試験(60%)
後期中頃のレポート(20%)
数回の簡単な課題(20%)で評価を行う

課題提出の回数が多くなった場合(4回程度)は小レポートは実施せず 課題の比率を40%にする

出欠調査は行わないので、出席点はありません。

履修にあたっての注意・助言他

1. この講義は、講義中に提示されるパワーポイントのスライドを中心に行い、テキストは特に指定しない。
講義内容のスライドはすべて流科ポータルからダウンロードできるようにしてあります。
スライドのアップやダウンロードのタイミングは講義中に指示します。
プリント資料なども、必要なものはすべてダウンロードできるようにしてあります。
こちらからプリント配布は一切行いません。
講義開始までにダウンロードの方法を確認しておいてください。
2. 出席調査は行わず、上記の講義中に提出する課題で出席点に代える。

教科書

・テキストは指定しない。

プリント資料及び参考文献

『テキスト企業文化』張虹、泉文堂
『企業文化 コーポレートカルチャー』松村洋平、学文社
『グローバル化のなかの企業文化 国際比較調査から』石川晃弘 / 佐々木正道 中央大学出版部、
『企業文化力と経営新時代』勝又寿良 / 篠原勲、同友館
『会社は「環境整備」で9割変わる！強い企業文化と社風の創り方』矢島茂人、あさ出版
『ヤマハの企業文化とCSR 感動と創造の経営』志村和次郎、産経新聞出版
『よい会社の条件』裕宗夫、中央経済社

授業計画

1. 企業文化の創造
企業文化が求められる背景
2. 企業文化の概念
文化とは何か
経営理念
3. 企業文化の概念
組織文化と経営文化
社風と職場風土
4. 企業評価
経済性による評価
人間性による評価
5. 企業評価
社会性による評価
環境性による評価
6. 企業の社会的責任
7. 良い企業とは(エクセレントカンパニー)
8. コーポレート・アンデンティティ
9. コーポレート・アンデンティティ (事例研究)
10. 企業の文化貢献(メセナ)
11. 企業の文化貢献(メセナ)(事例研究)
12. 企業の社会貢献(フィランソロビー)
13. 企業の社会貢献(フィランソロビー)(事例研究)
14. 環境経営(エコ・ビジネス)
15. 環境経営(エコ・ビジネス)(事例研究)

予習・復習

講義で使用するスライドや資料は流科ポータルにアップしてあるので、自分でダウンロードして、予習・復習に使用すること。必ず1週間前には講義スライドをポータルにアップします。

講義中にダウンロードの指示があったら、次回の講義に合わせて随時予習をすること。また、ダウンロードは定期試験終了時まで可能にしているため、復習や試験勉強にも使用すること。

備考

オフィスアワー
研究棟 1階 研究室番号 111
月・火・水・木 時間帯12:10~13:00